

## 「画竜点睛」(がりょうてんせい)

校長 山端 達雄

1月に県下一斉に実施された「鹿児島学習定着度調査」の結果速報値が発表されました。本校は、正答率70%以上、県平均を上回るという目標を達成できた教科がある一方、1年生で社会、数学、英語の3教科、2年生で数学が県平均を下回る結果となりました。生徒たちは日頃の授業や繰り返し学習などに一生懸命に取り組んでくれましたが、定着にまだ課題があります。今回の結果を真摯に受け止め、授業改善をはじめ学力定着を図るための取組を充実させていきます。ご家庭におきましても家庭学習の習慣化、充実のために変わらぬ励ましご指導をお願いします。

さて、本校ではSNS使用に関する調査を年間2回実施しています。昨年末に実施した調査結果を分析すると、全校生徒の約6割がSNSを利用しており、ほぼ毎日利用している生徒が利用者の約4割、平日1時間以上利用している生徒が利用者の約2割、利用生徒の約7割がグループチャットを行っている実態がありました。また、意識に関する項目では、下の表(数値は人数)のように利用生徒の多くが「友達とのつながりもてる」と答えている反面、「すぐに返事すること」や「メッセージをチェックすること」、「やりとりを終わらせられないこと」などの悩みをもっている生徒が少なからずいることが分かりました。お子さんにスマートフォンを購入、使用させる場合は、トラブル防止や依存防止、心身の健康のために、必ずフィルタリング契約をすることや親子で話し合い、使用ルールを決めるなどの対応をお願いします。

質問項目	全く 思わない	あまり 思わない	思う	とても 思う
やり取りをすることで、友達とのつながりもてる。	6	10	40	20
やり取りを通じて、友達の気持ちを確かめることができる。	5	17	43	12
メッセージがきたらすぐに返事することで悩んでいる。	20	32	21	6
送られてくるメッセージをチェックすることで悩んでいる。	22	18	26	13
メッセージのやり取りをなかなか終わらせられないことで悩んでいる。	27	39	10	3
自分のことをメッセージのやり取りしているのではないかと心配になる。	39	26	11	4

2月の全校朝会では、締めくくりをしっかりとってもらいたいと次のような話をしました。ご家庭でも話題にしてくださいとありがとうございます。

## 瞳



### 【2月全校朝会要旨】

三学期も残り少なくなり令和5年度も終わりに近づきました。物事の終わり方に関して「画竜点睛(瞳)」ということわざがあります。その意味は、「龍の絵を描くとき最後に入れる瞳をどう描くかで絵が良くも、悪くもなること。」すなわち、「物事を完成するとき、最後に付け加える肝心な部分のこと。最後の仕上げが大切なこと。」とされています。他にも竜頭蛇尾(りゅうとうだび)など物事の終わり方に関することわざがいくつかあります。私たちは、終わりが近づくと、終わりが見えてくると、つい気が緩んでしまい、それまでできていたことを止めてしまったり、思わぬ失敗をしてしまいがちです。充実した1年にするためにも、残りの三学期、気を引き締め毎日の生活を送ってください。

## 令和5年度鹿児島学習定着度調査結果について

1月に行われた、鹿児島学習定着度調査の速報値です。  
 4月には全国学力・学習状況調査もあります。学力向上に向け職員一丸となって努めて参ります。

1年生	国語	社会	数学	理科	英語
本校平均	79.2	53.4	70.9	71.8	68.9
地区平均	74.3	55.1	73.1	66.4	76.6
県平均	75.9	54.4	74.3	66.3	77
県との差	3.3	-1	-3.4	5.5	-8.1

2年生	国語	社会	数学	理科	英語
本校平均	69.5	73.4	68.3	71.9	79.7
地区平均	63.6	62.7	68.8	68	70.8
県平均	65.6	62.3	68.8	66.9	71.4
県との差	3.9	11.3	-0.5	5	8.3

## 入賞 合格 おめでとう！

- 第43回鹿児島県中学校新人バレーボール大会 第4位 男子バレーボール部
- 第43回大島地区中学校6人制バレーボール大会 優勝 男子バレーボール部
- 第35回鹿児島県中学校新人駅伝大会 区間2位：白峯袴羽(1区) 西綾海(2区)
- 数学検定 3級 前田早千香(3年)

## 令和6年度入学生入学説明会

2月1日(木)、小学6年生と保護者を迎え、新入生入学説明会を実施しました。児童たちは、校内を巡り授業参観をしたり、生徒会や中学校の先生から中学校生活についての説明を聞いたりしました。残りの小学校生活を締めくくり、希望を胸に入学生として入学していただけることを楽しみにしています。



## 食に関する指導講話

1月23日(火)、生徒集会で給食センター栄養教諭の折田先生が全校生徒に食に関する指導講話を実施していただきました。成長期に必要な栄養をバランスよく摂れる給食を、これからも美味しく食べていきましょう。



## じゃがいも掘り

2月10日(土)、1・2年生とPTA整備事業部の皆さんが支柱撤去や除草作業を、19日(月)に全校生徒と整備事業部員の皆さんで、じゃがいも掘りを行いました。今年もたくさんのじゃがいもを収穫することができました。収益は大切に使用させていただきます。



## 第3回小中連携研修会

1月30日(火)、和泊小学校、国頭小学校の先生方が来校され、第3回小中連携研修会を行いました。中学1年生の理科と音楽の研究授業、授業研究を行いました。授業研究では、指導法改善のために活発な意見交換がなされました。小学校の先生方は成長した1年生の姿を頼もしく感じていらっしゃいました。その後、生徒指導、学習指導、特別支援教育と3つの分科会に分かれて、小中での共通実践事項「ちびゅらさ日本プロジェクト」について協議するなど充実した研修になりました。



## いのちの授業

2月7日(水)、徳州会病院の助産師さんが1年生に「いのちの授業」を実施してくださいました。「命が誕生することの素晴らしさ」や「親の愛情の深さ」についてお話しいただきました。生徒は命の大切さを強く感じる事ができました。



## 第37回県地区対抗女子駅伝大会出場

第37回県地区対抗女子駅伝競走大会に大島チームの一員として、2年生の白峯袴羽さんが出場しました。本番では素晴らしい力走で、大島チームのCクラス優勝、Bクラス復帰、躍進賞1位獲得に貢献しました。応援ありがとうございました。今後の活躍も楽しみです。

## 民生委員との情報交換会

2月8日(木)、第2回民生委員との情報交換会を行いました。学校の現状等について説明を行い、その後、学級担任を中心に情報交換を行いました。



## 家庭教育学級「オリジナルリース作り」

2月17日(土)、和泊町研修センターで家庭教育学級「オリジナルリース作り」を実施しました。沖永良部の自然素材を使った材料で、講師の先生にアドバイスを頂きながらそれぞれ工夫したオリジナルリースが完成しました。



## 来年度の部活動について

来年度から、サッカー部、野球部、陸上部、男・女駅伝部、男・女バレーボール部が、地域指導者による部活動になります。詳しい内容については、教育委員会から保護者に向けての説明会がある予定です。日程が決まり次第ご案内します。

## 3月行事

日曜	主な行事
5 火	公立高校入学者選抜検査～6日 1年農業体験学習～6日 2年福祉体験学習～6日
8 金	クラスマッチ
12 火	第76回卒業式
13 水	公立高校第一次入学者選抜合格者発表
20 水	【●】春分の日
24 日	P T A 送別会
25 月	修了式・離任式



私には、五歳年上の兄がいる。兄は陸上をするために島を離れ、駅伝の強豪校である高校に進学した。高校から本格的に始めた陸上だが、二年生の時には県新人戦で一位、九州大会でも四位になるなど結果を出して頑張っている。

私はそんな兄のようになりたいと思い、中学校では陸上部に入った。でも、練習はとてつきつく、辛い練習では思うように走れず、仲間との差も大きくなった。「私には陸上は向いていないのかな。兄のように走るの無理かもしれない。」そう思うと練習も余計きつく感じてしまい、辞めてしまいたいと思うようになっていた。

五月、兄にとって高校最後の県総体を家族みんなで応援に行くことになった。初めて見る大きな陸上競技場。大勢の観客。大きなモニターには、選手の名前や映像が映っている。こんなにすごい場所で見ているのかと興奮した。他にも、一生懸命に走る高校生の様子を見て、私の胸はわくわくしていた。

そして、いよいよ兄の走る競技の決勝が始まった。家族みんなで、声を張り上げて応援した。前の選手をどんどん追い抜いて、見事一位でゴールした。兄は一番高い表彰台の上立って、深々と頭を下げながら賞状をもらっていた。そして、それを見ていた私に向かかって、にこにこ笑顔で手を振ってくれた。そんな兄の姿を見て、「やっぱり兄みたいにになりたい。私もこんなに大きな競技場で活躍できる選手になりたい」と強く思った。兄に、「どうやったらそんなに速く走れるの。」と相談した。すると、兄は、

「努力は絶対に裏切らないから、誰よりも練習をして、自分ならできると最後まであきらめないで信じていることが大切だよ。」と教えてくれた。いつもやる前からあきらめていた私の心にその言葉が響いた。「今までの自分ではだめだ。あきらめないで頑張ってみよう。絶対に兄のようになるんだ。」そう決めて、練習の時から意識を変えていった。同級生だけでなく、先輩にも今日は負けない。勝つんだと自分に言い聞かせ、そう意識して練習に取り組みようにした。

そんな私を見た母が、

「お兄ちゃんも陸上を始めてすぐは、けがにも苦しんだし、思うように走れなくていっぱい悔しい思いもしていたんだよ。それでも勝りたい気持ちがあるから頑張れたんだろうね。何より、走るの好きだから辞めたいと思っただことはないって言ってたよ。咲希も頑張っているからきつと結果につながるよ。」

と話してくれた。母の言葉に、私の心は熱くなった。私の挑戦はまだ始まったばかりだ。これから兄のように活躍できるかはわからない。でも、あきらめずに努力を続けることはできると思う。いつか私もあの大きな競技場で走れるように、最後まであきらめることなく、自分に自信が持てるくらい努力を続けたい。

兄の尊敬するところは、毎日こつこつ走り続ける「継続する力」や「集中力」をもっているところだ。でも、それ以上に私は見習いたいところがある。それは「感謝の気持ち」を持つことだ。兄は大会などがある度、親に「ありがとう」をちゃんと伝えている。周りの人への感謝を忘れない。だから、たくさんの人に応援してもらっている。私も、私たちのために練習を教えてくださっているコーチや父、母の期待に応えられるように、そして、たくさんサポートしてくれる保護者や地域の方々に、感謝の気持ちを持って、仲間とあきらめずに練習を頑張りたい。まずは、記録会や駅伝大会での自己ベスト更新を目指し、日々努力を積み重ねていこうと思う。

太陽がさんさんと降りそそぐ中、今日も私は前だけを見つめグラウンドを走り続ける。少しでも兄の背中に追いつけるように。